

(様式例第11)

令和4年9月12日

栃木県知事 殿

住 所 栃木県栃木市境町27番21号  
申請者 一般財団法人とちぎメディカルセンター  
代表理事理事長  
氏 名 森田 辰男 印

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法12条の2規定に基づき、2021年度の業務に関して報告します。

## 記

### 1 開設者の住所及び氏名

住所	〒329-0043 栃木県栃木市境町27番21号
氏名	一般財団法人とちぎメディカルセンター 代表理事理事長 森田 辰男

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

### 2 名称

とちぎメディカルセンターしもつが
------------------

### 3 所在の場所

〒329-4498 栃木県栃木市大平町川連420番地1 電話 ( 0282 ) 22-2551
---

### 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	6床	床	床	301床	307床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器 心電図 ベッドサイドモニター 病床数 8 床 除細動器 超音波診断装置 血圧監視装置 輸液ポンプ 輸注ポンプ 等
化学検査室	(主な設備) 骨髓像計数装置 血中ビリルビン定量計 顕微鏡 血液保冷库 遠心機 全自動尿分析装置 尿沈査児分析装置 全自動便分析装置 自動血球 分析装置 全自動血液凝固測定装置 生化学自動分析装置 糖尿病検査装置 血液ガス分析装置 全自動免疫装置
細菌検査室	(主な設備) バイオガードクリーンベンチ 遠心機 恒温孵卵器 インキュベーター オートクレーブ 落射蛍光顕微鏡 感熱滅菌器 遺伝子装置
病理検査室	(主な設備) ミクロトーム 自動細胞収集装置 システム生物顕微鏡 病理標本自動封入装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台 マクロ撮影装置 電子天秤
研究室	(主な設備) オーダリングパソコン インターネットパソコン
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人音響装置 プロジェクター 椅子 机
図書室	室数 1 室 蔵所数 4000 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 7.25 m <sup>2</sup>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院 紹介率		70.4%	算定 期間	2021年4月1日～2022年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率		85.2%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			8321人
	B：初診患者の数			11817人
	C：逆紹介患者の数			10065人

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第 13)

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

[illegible]

[illegible]

看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
看護師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師		常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師		常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師		常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師		常勤	非専従	38.75 時間

[illegible]

[illegible]



## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	12床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
診察室	513.90㎡	除細動器 心電図 患者監視装置 超音波診断装置 人工呼吸器	可
処置室	91.12㎡	患者監視装置	可
検体検査室	207.59㎡	(主な設備) 骨髓像計数装置 血中ビリルビン定量計 顕微鏡 分光光度計 血液製剤X線照射装置 血液保冷库 遠心機 全自動尿分析装置 尿沈査児分析装置 全自動便分析装置 自動血球分析装置 全自動血液凝固測定装置 生化学自動分析装置 糖尿病検査装置 血液ガス分析装置 全自動免疫装置 (主な設備)	可
細菌室	23.15㎡	バイオガードクリーンベンチ 遠心機恒温孵卵器 インキュベーター オートクレーブ 落射蛍光顕微鏡 乾熱滅菌器	可
病理室	25.67㎡	マイクローム 自動細胞収集装置 システム生物顕微鏡 病理標本自動封入装置 パラフィン包埋ブロック作成装置 密閉式自動固定包埋装置 凍結マイクローム	可
生理検査室	268.14㎡	長時間心電図記録装置 心電計 重心動揺計 除細動器 超音波診断装置 誘発電位検査装置 呼吸機能分析装置 ストレステストシステム 長時間心電図解析システム 脳波計 血圧脈波検査装置	可
放射線室	746.71㎡	体外衝撃波結石破碎装置 X線一般撮影装置 X線骨密度装置 乳房用X線装置 全身用血管撮影装置 デジタルX線TVシステム 磁気共鳴画像装置 全身用X線CT装置	可

#### 4 備考

救急告示病院 令和4年2月1日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2835人 (1180人)
上記以外の救急患者の数	2720人 (452人)
合計	5555人 (1632人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

（様式例第 14）地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

（2）共同利用の実績

1 共同利用の実績

・ コンピュータ断層撮影	551 件
・ 磁気共鳴コンピュータ断層撮影	1397 件
・ 胸部・骨盤計測レントゲン	3 件
・ 骨密度検査	128 件
・ 超音波検査・ABI 含む	429 件
・ ホルター心電図	3 件
・ 脳波検査	1 件
内視鏡検査	15 件
共同利用を行なった医療機関数	件
共同利用を行なった医療機関延べ数	2527 件
開設者と直接関係のない医療機関延べ数	2527 件
病床利用件数	0 件

（注） 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

・ コンピュータ断層撮影
・ 磁気共鳴コンピュータ断層撮影
・ 胸部レントゲン
・ 骨盤計測レントゲン
・ 骨密度検査
・ 超音波検査
・ 血圧脈波検査（ABI）
・ ホルター心電図
・ 脳波検査
・ 内視鏡検査

（注） 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：

職 種：事務職員

（注） 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

#### 4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	7床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

##### 1 研修の内容

別紙

##### 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	13回
(2) (1) の合計研修者数	298人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

##### 3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	整形外科	病院長	40年	教育責任者
	医師	放射線科	副病院長	38年	教育研修委員会委員長
	医師	外科	副病院長	34年	
	医師	内分泌内科	名誉院長	46年	
	医師	小児科	顧問	47年	
	医師	消化器内科	診療部長	27年	
	医師	腎臓内科	内科部長	22年	患者総合支援センター長

	医師	循環器内科	主任医長	15年	
	看護師	看護部	看護部長	34年	
	薬剤師	薬剤部	薬剤部長	37年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
図書室	85.89m <sup>2</sup>	コピー機・パソコン5台 インターネット設備
講堂	236.62m <sup>2</sup>	プロジェクター・音響設備・パソコン・電動スクリーン
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長
管理担当者氏名	事務部長

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院診療計画書、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ、及び各部門システムにて保存 一部紙カルテは医事課で保存	日誌は部署で管理 紙媒体についてはスキャンし電子カルテに保管後、原本は診療情報管理課で管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	年度毎に分類
	救急医療の提供の実績	地域医療連携室	年度・科別に分類
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	年度毎に分類
	閲覧実績	診療情報管理課	年度毎に分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	年度毎に分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長
閲覧担当者氏名	診療情報管理課長
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理課、

閲覧の手続の概要

病院管理に関する日誌類

- ① 事前に閲覧文書、閲覧目的を記載した「文書開示請求書」を閲覧担当者へ提出
- ② 提出された「文書開示請求書」により、開示の可否を決定
- ③ 開示可能と決定した場合は、開示請求者に対して開示日時などを連絡
- ④ 開示当日は、閲覧担当者が立ち会い、閲覧を行う

診療録関係

- ① 閲覧の希望及び閲覧の書類閲覧日を事前に連絡
- ② 閲覧当日は、所定の用紙に氏名、患者氏名を記載
- ③ 閲覧場所で閲覧担当者が立ち会い閲覧を行う
- ④ 閲覧後、入院中の患者と面談、診察を行った場合は、面談内容を主治医に連絡する。

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	件

(様式例第18)      委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回 (うち1回は書面開催)	
委員会における議論の概要		
別紙		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。



(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療福祉相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	社会福祉士・精神保健福祉士 看護師
患者相談件数	7842 件
患者相談の概要	
別紙のとおり	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報発信の方法：ホームページ、広報誌</li><li>・ 内容等の概要：研修会のお知らせ・休診のお知らせ</li><li>・ とちまるネットの活用（平成28年5月より）</li></ul>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 退院調整部門の概要：専任看護師名 専任社会福祉士 病棟カンファレンスへの参加、患者面接を行っている。</li></ul>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類 脳卒中クリティカルパス・大腿骨頸部骨折パス・糖尿病地域連携パス・</li><li>・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</li></ul>	